

**CS+用 RL78コード生成(CS+ for CC)  
CS+用 RL78コード生成(CS+ for CA,CX)  
e<sup>2</sup> studio Code Generatorプラグイン  
RL78コード生成支援ツール Applilet3  
ご使用上のお願い**

CS+用 RL78コード生成(CS+ for CC)、CS+用 RL78コード生成(CS+ for CA,CX)、e<sup>2</sup> studio (Code Generatorプラグイン) および RL78コード生成支援ツール Applilet3 の使用上の注意事項を連絡します。

- PIORレジスタ設定によるピン配置変更時のシリアルインタフェースIICAの端子設定 の注意事項  
対象: RL78/G12グループ(20 および 24ピン製品)

## 1. 該当製品

- CS+用 RL78コード生成(CS+ for CC) V2.03.00以降
- CS+用 RL78コード生成(CS+ for CA,CX) V2.03.00以降
- e<sup>2</sup> studio V2.1.0.21以降 (Code Generatorプラグイン V1.0.0以降)
- RL78コード生成支援ツール Applilet3 V1.07.00以降

## 2. 該当マイコン

- RL78/G12グループ(20 および 24ピン製品)

## 3. 内容

下記の手順で、周辺I/Oリダイレクションレジスタ(PIOR) によりピン配置を変更しシリアルIICAを使用した場合、端子設定に関する生成コードに誤りがあります。そのため、IICAのクロック端子 および データ端子を使用することができません。

(1) クロック発生回路の端子割り当て設定で、PIOR2ビット=1 にチェックを

入れ、確定ボタンをクリックし、周辺I/Oリダイレクト機能を設定  
(2) シリアルのIICA0タブで、シングルマスタ または スレーブを選択

#### 4. 回避策

r\_cg\_serial.c にある関数 void R\_IICA0\_Create(void) を下記に従い、  
ポート1の設定からポート6の設定(P60/SCLA0, P61/SDAA0)に修正してください。  
なお、コード生成後は常に修正が必要です。

修正前:

```
-----  
void R_IICA0_Create(void)  
{  
    .....  
    /* Set SCLA0, SDAA0 pin */  
    POM1 |= 0x30U;          /* 修正前 */  
    P1  &= 0xCFU;          /* 修正前 */  
    PM1 |= 0x30U;          /* 修正前 */  
    .....  
    /* Set SCLA0, SDAA0 pin */  
    PM1 &= 0xCFU;          /* 修正前 */  
}
```

修正後:

```
-----  
void R_IICA0_Create(void)  
{  
    .....  
    /* Set SCLA0, SDAA0 pin */  
                                /* POM1の設定を削除 */  
    P6 &= 0xFCU;                /* P1の設定から修正 */  
    PM6 |= 0x03U;              /* PM1の設定から修正 */  
    .....  
    /* Set SCLA0, SDAA0 pin */  
    PM6 &= 0xFCU;              /* PM1の設定から修正 */  
}
```

#### 5. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

**[免責事項]**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.